むつみパーク蔵本が誕生しました

県のネーミングライツ選定委員会にて、
私たちむつみホスピタルが提案した愛称が選ばれ、
徳島県蔵本公園は、むつみパーク蔵本に愛称変更となりました。
私たちは、ハンディキャップを持つ方も、そうでは無い方も、
皆が仲むつまじく暮らす地域の実現を理念の一つとして掲げています。
むつみパーク蔵本という愛称には次のような想いが込められています。

01 正しい知識

私たちが治療・支援の対象としている精神疾患に関して、正しい知識を普及・啓発していきたいと思っています。例えば、精神科に入院された患者さんの家族に対するアンケートにおいて9割の方が、家族が精神疾患になるまで精神疾患について考えたこともなかったと答えています。また、同じく9割の方が前もって知識があれば違った対応ができたかもしれないと振り返ります。精神疾患も身体疾患と同じで早期発見・早期治療が大切です。そして、問題を一人で、もしくは家族だけで抱え込まず、さまざまな支援や治療と組み合わせて対応していくことで負担を減らすことができます。このようなことを知っていただく機会を増やしていきたいと考えています。

02 コミュニティ作り

徳島県では、Jリーグクラブチームである徳島ヴォルティスさんにご協力をいただきながら、精神障害を持つ方へのサッカー・フットサルの普及に努めてまいりました。こうしたコミュニティは、患者さんの回復において、医療従事者やご家族だけではなし得ない力を発揮することがあります。むつみパーク蔵本には、むつみスタジアム（野球場）、むつみセンターコート（庭球場）、むつみスイミング（プール）、むつみひろば（遊具場）などがありますが、このような環境を生かして、サッカーに続くコミュニティを作っていきたいと考えています。

03 新たなチャレンジ

私たちのような民間の精神科病院が公園のネーミングライツを担うのは全国的にも珍しいのではないでしょうか？さまざまなご意見もあるかと思います。しかし、私たちむつみホスピタルは蔵本公園のすぐ近くに病院がありながら、地域の皆さまにとって身近な存在ではなかったかもしれません。私たちが地域に一歩踏み出すきっかけとし、「地域にある」精神科病院の姿を模索していきたいと思っています。例えば、パーク内に作業所のキッチンカーで出向いて行って、カフェや軽食を提供できると素敵だな～などと考えています。

Access

〒770-0044 徳島市庄町1丁目76番地の2
JR蔵本駅から徒歩約10分
お車では 島本町交差点から国道192号を西に約4.4Km